

平成21年度 法科大学院入学者選抜試験問題

民 事 法

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
2. 試験時間は、民法、商法、民事訴訟法の3科目で130分です。
3. 試験中に問題用紙の印刷不鮮明や解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. 解答にあたっては、必ず黒か青のペン（鉛筆は不可）またはボールペンを使用してください。
5. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
 - (1) 受験番号・氏名を所定欄に記入してください。
 - (2) 民法の解答用紙は、3枚あります。2～3枚目の解答用紙にも受験番号・氏名を記入し、ホチキスは、はずさないで使用してください。
 - (3) 訂正する場合は、＝線で消すなどして、分かりやすく訂正してください。
 - (4) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
6. 問題用紙の余白等は適宜利用してかまいません。
7. 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

【民法】

第1問

次の文章は、ある判決文の一部である。空欄 に入る数字ないし語句は何か。そして、これはどのような問題（論点）に関するものであり、判例の考え方ではどのような結論になるかについて、二重に譲渡担保が設定された事例（原告をX、被告をYで表記）を想定し、あわせて15行以内で説明しなさい。〔配点40点〕

「無権利者から動産の譲渡を受けた場合において、譲受人が民法 条によりその所有権を取得しうるためには、一般外観上従来の占有状態に変更を生ずるがごとき占有を取得することを要し、かかる状態に一般外観上変更を来たさないいわゆる の方法による取得をもっては足りないものといわなければならない」（最判昭和35年2月11日民集14巻2号168頁）

第2問

AとBは、違法な麻薬の製造・密売をして一儲けしようと企み、Aは、所有する土地の上に建物を建て、この建物を麻薬製造工場として使用する目的で未登記のままBに贈与し、Bが引渡しを受けて、もっぱら麻薬製造のために使用してきた。数年を経て、麻薬取締が厳しくなるなどしたこともあって、収益が著しく減少し、AB間でもその利益配分をめぐる争いが生じるなどしたため、Bは、麻薬の製造・密売をやめ、この建物を店舗兼居宅として新たな商売を始めた。この場合において、次の問いに答えなさい（なお、小問(1)と小問(2)はそれぞれ独立の問題である）。

- (1) Aは、麻薬密売で利益を得られないのであれば、この建物を取り壊して、新たにいわゆる賃貸マンションを建て、マンション経営をしたいと考えた。これを実現するために、Bを立ち退かせたい。AはBに対してどのような請求をすることが考えられるか、そして、そうした請求は認められるかを検討せよ。〔配点40点〕
- (2) Aは、Bとの紛争が生じた後、この建物の所有権保存登記をA名義で行った上、Cに売却した。建物所有権をめぐるBC間の関係についてどのような考え方がありうるかを検討せよ。〔配点40点〕

【商法】

会社法における取締役と会社との間の利益相反取引（債務保証その他の利益相反取引も含む）の制限について、その趣旨、適用範囲、違反した場合の法的な問題等を説明しなさい。 [配点40点]

【民事訴訟法】

AがBに対して土地所有権に基づく明渡請求訴訟を提起したところ、Bは、本件土地がA所有であることは争わないが、この土地については、平成11年1月ころ、Aの父から賃料を払って借り受ける旨の契約を結んでいるので明け渡す必要がないと主張し、Aは、そのような契約は存しないと主張した。

（問1から問3はそれぞれ別の問題である。）

問1. 本件土地について、①本訴において、Bが反訴を提起し、自己の権利を判決で確定させるには、どのような訴えを提起すべきか、②Bからの反訴として、「平成11年1月ころにAの父から賃料を払って借り受ける旨の契約があったことの確認を求める」訴えは、適法か。

それぞれに理由を付して答えなさい。 [配点20点]

問2. 上記の土地明渡請求訴訟において、審理の結果、Bの主張する土地賃貸借契約については契約書などの証拠もなく賃借権を認めることは困難であるという結論に達した場合、裁判所はどのような判決をすることになるのか、理由を付して答えなさい。 [配点10点]

問3. 上記の土地明渡請求訴訟において、Aは、Bの主張に対する反論として、Aの父とBとの間の契約は無償で土地を利用させる契約に過ぎないと主張した。

この主張は、民事訴訟法上、どのように取り扱われるのか、理由を付して答えなさい。 [配点10点]